

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		<b>事務事業名</b> 中学校屋根・外壁改修事業（登別中学校校舎屋根改修工事）	
区分	番号	名 称	
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	
小分類	3	教育環境の充実	
主要な施策	1	児童生徒の安全確保	
事務事業番号	033	事務事業コード	52231033
		事業開始年度	平成 1 2 年度
		事業終了年度	平成 - 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名
			中学校屋根・外壁事業費
部 名	教育部	グループ名	総務 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 市内中学校施設の老朽化している屋根・外壁の改修を行い、教育環境の改善を図る。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 校舎、屋体の屋根、外壁の塗装や外壁工事を行う。 改修対象学校数 5校 平成 2 2 年度実施箇所 登別中学校校舎屋根改修工事
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 校舎・屋体の屋根改修及び外壁の塗装工事を実施し教育環境の改善を図ることにより、子ども達が安全で安心な学校生活を送ることができる。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください） 学校教育法

指標の推移		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	改修した中学校	棟	目標値	1	0	0	1	0
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円	3,700					0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円				31,000	0	31,000
合 計			3,700	0	0	31,000	0	31,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	266	273			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		266	273			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市内中学校施設の老朽化により、修理が困難で支障をきたしている箇所を年次的に改修を行うものであり、児童・生徒等が快適な環境の中で学習することができるように行政が整備することが妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 学校施設の老朽箇所を改善しており、児童生徒の学習環境等の向上に成果があがっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業の継続により教育環境の改善を図ることが出来る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 工事の方法や使用する資材の選定において、当初より必要最低限のものを選定している。また、工事における人工や所要時間の削減も難しい。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	施設の老朽化により、修理が困難で支障をきたしている施設を年次的に改修し、環境改善を図る。
-----------	----------------------	--

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）